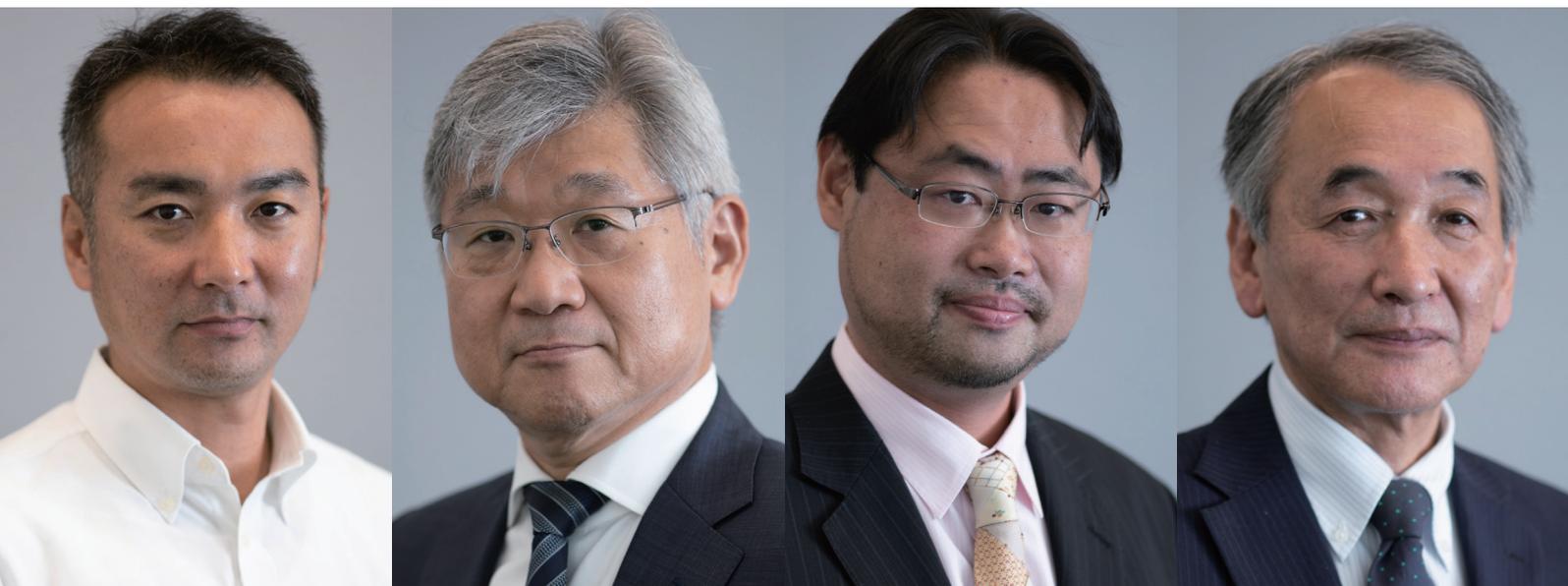


勇気ある 経営大賞

第17回

実施報告

2019



あくなき挑戦と自分たちの可能性を信じる**勇気**。

挑みつづける、変わらぬ意志で。

 **東京商工会議所**

後援: 東京都 / 日本商工会議所 / 関東商工会議所連合会 / 東京都商工会議所連合会 協力: フジサンケイビジネスアイ

第17回 「**勇氣ある**」 経営大賞

実施報告

2019

目次

会頭あいさつ	2
実行委員長あいさつ	3
選考にあたって	4
社長に訊く「勇氣ある経営」	5
奨励賞受賞企業の紹介	13
第17回「勇氣ある経営大賞」実施概要	15
「勇氣ある経営大賞」産学連携プロジェクト... ..	18
過去受賞企業一覧	19

受賞企業一覧

大賞 株式会社東鋼	5
優秀賞 株式会社華光	7
東京彫刻工業株式会社	9
特別賞 株式会社若松	11
奨励賞 株式会社江北ゴム製作所	13
株式会社佐竹製作所	13
株式会社信栄テクノ	13
株式会社スワロースポーツ	13
有限会社坪川製箱所	13
データライブ株式会社	13
株式会社日興エポナイト製造所	14
日本珪瑯釉薬株式会社	14
株式会社プレステージジャパン	14
マテリアルワークス株式会社	14
株式会社ミヨシ	14
株式会社ユニフォームネット	14
株式会社横引シャッター	14

会頭あいさつ



東京商工会議所 会頭

三村 明夫

受賞をされた企業の皆さま、この度は誠にありがとうございます。高い理想を胸に抱き、未来を切り拓くために果敢に挑戦し、成果を創出している企業を称える「勇氣ある経営大賞」は、今回で第17回目を迎えました。応募のあった118社の業種や業態は、さまざまでしたが、いずれの中小企業も理想を実現するためにあくなき挑戦を続ける企業ばかりでした。

今回は、1990年代後半に売り上げの7割を占めていた自動車分野から脱却すべく、お客様のものづくりを徹底して手伝うことで、航空機・医療の新たな分野へ参入を果たした東鋼が大賞に選ばれたほか、チタンなどの加工が難しい素材でも「挑戦する前からあきらめない」を掲げ、金属極細パイプの分野で「駆け込み寺」の評価を得て、業績を伸ばした華光と実父である先代社長の死に際し、「どうやったら生き残れるのか」を模索し、自社ブランドの製品を開発するとともに、中国での製造拠点の確立と北米への販路開拓に取り組まれた東京彫刻工業が優秀賞に選ばれました。極めてユニークでキラリと光る企業に贈る特別賞には、100年振りに港区芝に酒蔵を復活し事業化を成功させた若松が選ばれるなど、まさに勇氣ある挑戦が課題を解決し、さらなる成長につながることを、身をもって実証された企業ばかりです。

日本は今、国内では少子高齢化の進展、人手

不足、潜在成長率の低下、国際的には米中対立などによる世界経済全体の不確実性の高まりなど、様々な課題に直面しています。昨年、明治維新150年の節目の年を迎えましたが、明治の人々のおかれた環境は、今の我々よりもはるかに厳しかったはずです。

そのような中、東京商工会議所の創設者である渋沢栄一をはじめとする我々の先人たちは、日本に必要な制度、技術、産業などを一つ一つ創りあげ、近代国家を建設していきました。

現代に生きる我々も目の前にある難局に対し、あきらめず挑戦し未来を切り拓いていくことが、日本経済の発展に欠かすことができません。また、そうした挑戦を続けていくことこそが、明治の先人たちの「意志をつなぐ」ことにもなるはずです。

これからも、日本経済を支える中小企業の勇氣ある挑戦を期待しています。

今回、惜しくも選考に漏れてしまった企業もありましたが、ぜひ次回も「勇氣ある挑戦」に取り組みされている多くの企業の皆さまからのご応募を心よりお待ちしております。

末筆となりましたが、受賞された企業各社の今後一層のご活躍をご期待申し上げるとともに、本賞の実施にあたり、ご推薦をいただきました関係各機関、ならびに選考に携わっていただいた関係各位に、心より厚く御礼申し上げます。



「勇気ある経営大賞」実行委員長
東京商工会議所 副会頭

伊東 孝紳

第17回を迎えた「勇気ある経営大賞」は、例年同様多数のご応募をいただきました。最終選考に残った企業をはじめ、ご応募いただいた企業の多くはあらゆる困難や障壁にぶつかりながらも、自らの手で新たな時代を築き上げた素晴らしい企業でした。

今回はその中から、大賞1社、優秀賞2社、特別賞1社を選出いたしました。また今後本賞を受賞することが期待される企業として、奨励賞13社を選出しております。この場を借りまして募集や選考にあたりご尽力いただいた皆さまには厚く御礼を申し上げますとともに、本顕彰制度に応募された全ての企業に感謝を申し上げます。

大賞の東鋼は、老舗の精密切削工具の製造・販売業です。2000年前後は自動車関連の切削工具が売上の7割以上を占めていましたが、将来ガソリンエンジンから電動自動車の普及による切削工具の需要減少を危惧し、他分野の参入を決断しました。はじめに航空機体に使用する難削材の炭素繊維強化プラスチック加工用切削工具の開発に成功しました。また医療ではドリルで穴をあけるのが難しい骨の手術用の「オメガドリル」を開発しました。「顧客のものづくりを手伝う」ことを徹底し、自社技術を高め、航空機・医療分野への参入を果たし、主要事業の多角化を実現させました。

優秀賞2社には、先代のお父様の急逝により21歳で会社を引き継ぎ、シングルタスクが得意な引き

こもり経験のある若年層を採用し、精密極細管で世界初のチタン合金細管の製品化に成功するなど、危機を脱し財務改善をした華光と、刻印と刻印機でユーザー仕様・図面による受注生産型から、自社でドットマーカーク印機を開発・販売に進化させ、海外の工場開設へと成長させた東京彫刻工業を選出しました。特別賞には、自宅ビルを醸造所に改装し、23区唯一の純米原酒酒蔵として復活させ、事業化に成功した若松を選出いたしました。

実行委員長として参画し実感したことは、受賞した各企業の経営者は必ず成し遂げるといふ強い信念を持ち、自社技術や特性を生かした独自性にこだわり、さらに挑戦し続けていることです。企業規模に関わらず、「経営者の挑戦し続ける実行力」が厳しい経営環境を乗り越え、一人ひとりの強みを引き出し、新たな製品を生み、さらなる成長に導いています。中小企業の実績を垣間見て、大変勇気づけられました。

私ども東京商工会議所は、このような「勇気ある経営」を体現した企業の活動を広くPRすることで、後に続く多くの企業に、夢と挑戦する勇気を与えることが出来ると考えています。今回惜しくも入賞を逃した企業においても、勇気ある経営活動を継続・進化させ、是非再度チャレンジしていただきたいと思っております。今後とも本顕彰事業へのご支援、ご協力を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。



「勇気ある経営大賞」選考委員長
国際大学 学長

伊丹 敬之

今年の受賞企業四社には、共通の特色が二つある。一つは、歴史にもまれてきた企業ばかりという点である。創業年次が1964年から1812年までで、最も若い企業でも55年の歴史がある。その間、さまざまな転変がありながら、新しい道を切り開いてきた事業承継者たちの企業ばかりである。もう一つの特徴は、東京の強みがここにあるか、と再認識させてくれるという点である。特別賞の若松は、都心で酒蔵を再興するという挑戦をしている。都心ならではの意外性もある魅力、という意味での東京の強みである。大賞の東鋼、優秀賞の華光と東京彫刻工業、の三社はいずれも金属の超精密加工が技術の軸になっている。この分野が東京のような土地に立地する企業の一つの強みの本質なのであろう。

大賞の東鋼は、精密切削工具のメーカーで、多様な工具を高い技術で開発し、「顧客のものづくりを手伝う」ことを企業の基本コンセプトにしている。自動車中心だった顧客先を、炭素繊維加工用工具の開発で航空分野に、骨の加工やガン手術用術具の開発などで医療分野に、と積極的に転換してきたことが高く評価された。

優秀賞の華光は、精密極細管の開発に成功している企業だが、そこに至るまでの現経営者の努力が選考会で高く評価された。人間の髪の毛よりも細い金属パイプ(中に穴が開いている)を作れること自体も驚きだが、それを可能にしたチームが経済的

に苦しい中でほとんど廃棄されていた工具などを集めての生産設備作りの苦労にも驚かされた。

同じく優秀賞の東京彫刻工業は、打刻をするための刻印製造からドットマーカーク印機を開発へと舵を切り、異なる技術の小型刻印機を開発へと舵を切り、それを見事に成功させていわば事業転換を行なった。さらに、海外展開も進めている。カメラマン志望から親の事業承継へという人生の転換もまた、中小企業ならではの転換である。

特別賞の若松は、江戸時代には芝の造り酒屋だった家業がその後転変を重ねて雑貨の卸小売業になっていた会社を、都内に酒蔵を再興したいという思いで幾多の困難を重ねた後に、みごと「芝の造り酒屋」という原点に立ち戻った例である。東京の水道水が酒の醸造に適しているという事実も含め、都内の小さな土地で日本酒の醸造を可能にする、という驚きの事業開発である。そのユニークさは、特別賞にふさわしい。

今年もこうして質の高い、かつユニークな受賞企業を選出できたことを、選考委員会として大いに喜ぶたい。そして、例年のことだが、選考のための現場調査などをご担当頂いたワーキンググループの委員の方々には、夏の暑い盛りに作業をしていただいた。さらに、惜しくも三次選考にもれた多くの企業の方々にも調査をご協力頂いた。みなさんのご努力に、心から感謝したい。



株式会社 東鋼

代表取締役社長 寺島 誠人

受賞理由

顧客の課題に向き合うことで自社技術を高め、売上の7割を占める自動車分野から脱却すべく、航空機産業や医療産業へと新たな分野への参入を果たし業績を向上させたこと。

7割を占めた自動車分野からの脱却。技術を軸に航空機、医療分野へ挑戦。

創業82年、特殊精密バイトという旋盤で使われる切削工具の販売を行い、売上の7割を自動車関連が占めていたのが弊社です。代表的なものにF1のエンジン製造用の切削工具があり、実用に向けて開発途上のアルミニウム合金など素材データが存在しない中、工具を開発してきました。お客様と共に問題解決を考え、信頼関係を築き、技術で応えることを徹底。「お客様のものづくりを手伝う」という経営理念が培われていきました。

しかし、1997年にハイブリッドカーが発売された時、近い将来電気自動車の時代が来ると予測し、そうならば自動車のエンジン用切削工具事業が打撃を

受けると危惧しました。「何が何でも新しいマーケットを開拓しなくてはならない」と新分野開拓に全力で取り組むことを決意しました。

2006年、2つの大きなチャンスが到来。1つは、航空機分野。航空機製造を請け負うメーカーからCFRP(炭素繊維強化プラスチック)素材を採用した航空機に用いるドリル製造の依頼が舞い込みました。この機体は1機あたり約20万ヵ所の穴を開ける必要がありドリル刃の消耗が激しく、頑丈な刃が求められました。開発が決まっても延期などが見込まれる航空機分野への参入には反対の声もありましたが、当社の技術に期待を寄せた取引先に報いたいと大規模な設備投資を断行。受注は3年後となりましたが、現在は売上の3割を占めるまでになりました。

顧客の課題に向き合い技術を向上、
新たな分野に挑戦する「勇気」。



Passion for お客様の喜び

もう1つは、医療分野。「人工関節装着手術の術具としてステンレス製ドリル」製作の依頼です。これについても半年くらいかけて量産体制を整備し、受注を広げていきました。09年、山口大学から「乳がんにおける乳房温療法手術補助デバイス」の依頼を受け、5年をかけ開発に成功しました。さらに、整形外科の世界で、表面が滑らかで穴を開けるのが困難な骨の手術用に「オメガドリル」を開発、販売に至りました。

リーマンショックによる売上7割減や、福島に工場があるので東日本大震災による風評被害も被りましたが、ゼロから始めた航空機と医療は売上の5割を占めるまでに成長しました。今後もお客様のものづくりを手伝い、技術を「過去と未来を、弊社とお客様を紡ぐ糸」にするために努力を続けていきます。今期も2億円近い設備投資をしているところですが、挑戦の歩みを止めることはありません。



企業データ

株式会社 東鋼

事業内容 精密切削工具の製造・販売

- 本社所在地：東京都文京区本郷5-27-10
- 業 種：製造業
- 創 業：1937(昭和12)年
- 従業員数：49人
- 資本金：6,286万円

- ① 当社の製造するバイト
- ② 骨の手術用「オメガドリル」
- ③ 海外出張時も愛着のある作業着を着用する社員



株式会社 華光

代表取締役社長 木田 和寿

受賞理由

「挑戦する前からあきらめない」を掲げ、チタンなど加工が難しい素材の技術を開発。金属極細パイプの「駆け込み寺」の評価を得て、経営危機を脱し業績を伸ばしたこと。

「挑戦する前からあきらめない」。型破りなものづくりで金属パイプ分野の駆け込み寺に。

1964年に父が創業した事業は、放電加工に使用する電極の卸売。父が病で亡くなり、大学4年生だった私が社長に就任したのですが、売上1億円足らずなのに公私合わせて8億円の借金があることが判明し、愕然としました。重ねて当時はバブル崩壊の大混乱期であり、創業者が亡くなったことも響き、売上はたちまち半減してしまいました。

私は全国100社以上の客先に出向いて頭を下げ、何とか売上を維持し経営を安定させようと思いました。すると次第に、仕事の困り事を相談してもらえるようになったのです。何とか解決できないかと外

注先に相談するも、できない、やったことがない、と言って断られてしまいました。

2002年、倒産してしまった外注先の職人3人とともに事業部を引き継ぎ、製造業へと転換。資金も経験もない中、リサイクル品や100円ショップ品を工夫して治具や設備を手作りしました。とにかく引き受けて売上につなげるしかありません。「何とかします、やらせてください」と答え、必死で考えて対応していきました。「Anyway YES!とにかくできます」が弊社の経営理念となっていきます。そして、数え切れない失敗を重ねながら、同業他社やお客さまに教えてもらって、納品の実績を増やしていったのです。やがて弊社の決して断らない仕事ぶりが口コミで伝わり、自動車、半導体、医療など多岐に渡る業界のユーザーから相談をいただけるようになりました。手術用カテーテルに錆にくいステンレス素材を

とにかくやってみる。
自分達力を信じる「勇気」。

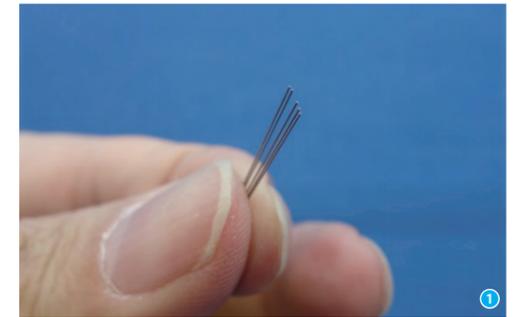


Passion for 自分達の可能性

使用した極細パイプ、世界初のチタン合金細管の製品化であるダイレス伸管加工技術などに成功し、今ではパイプ製造の「駆け込み寺」と言われるようになりました。

スケジュール管理や準備、対外交渉ができるマルチタスクが評価される時代ですが、昔の職人も然りですが製造業にはマルチタスクより1つのことに専念するシングルタスクに長けている人が向いていると実感しています。シングルタスクに強い人でも活躍してほしいと、当社ではひきこもり経験のある若者を積極的に雇用しています。

社長に就任し這いつくばった日々から24年、現在売上は2億8千万円、そのうち海外向けの売上が1割を占めています。会社を引き継いだ時に抱えた借金も完済しました。世界には私達の技術が役立てられる機会が数多くあると思います。まずはアジアを足がかりに世界を視野に活動していきます。



企業データ

株式会社 華光

事業内容 様々な金属による精密極細管の開発・製造事業

- 本社所在地：東京都北区東十条5-6-21
- 業 種：製造業
- 創 業：1964(昭和39)年
- 従業員数：15人
- 資 本 金：1,000万円

- ① ② 当社の製造するさまざまな極細金属管
- ③ シングルタスクながら愚直にもものづくりに挑戦する当社の社員たち



東京彫刻工業 株式会社

代表取締役 花輪 篤稔

受賞理由

生き残りをかけ、自社ブランドのドットマーカによる刻印機を開発。経営指標を社内で共有し、少人数の町工場ながら海外生産・販売に取り組み業績を向上させたこと。

どん底の経営状況から生き残りをかけ、自社ブランド製品を確立。

1919年に祖父の兄が創業した刻印及び刻印機のメーカーである当社は、受注生産型の下請的な町工場でした。刻印は自動車や工作機械の部品に製品情報、シリアル番号、ロット番号、ロゴマーク等を刻み込むもので企業の品質管理に不可欠。しかし、この業界は価格競争にさらされ収益力が乏しく、写真家を志してアメリカで修業中だった私が呼び戻されて入社した2000年の時点で、借入金は年商に匹敵する2億円。そのような時期に私はシカゴの展示会でスペイン製NC制御式ドットマーカに出会いました。従来は文字の仕様が変わるたびに刻印を

取り付けていたのですが、このドットマーカは入力した文字をそのまま刻印できるデジタル式で、これまでの課題を解消できるものだったのです。唯一の希望を見出し、代理店になろうと思ったのですが、社内から「従来の刻印機が売れなくなる」と大反対。社内を何とか説得して代理店になりました。

そんな中、04年末に先代社長の父が死去し、私が社長に就任。その時、どうしたら今後会社が生き残っていけるかを考え、「代理店や下請ではなく、自社ブランドを持つメーカーとして生きていく」ことを決意しました。着目したのは、取り扱っていたドットマーカです。海外製がほとんどで国産は1社のみ。この状況を変えたいと思いました。ドットマーカは1台100~300万円で中小企業には高額、重い、据え付け型で不便などの課題があり、それらを克服する製品開発が目標。5年の歳月をかけて、「MarkinBOX」1号機を開発。「MarkinBOX」の

町工場でもここまでできる。
可能性を信じ挑む「勇気」。



価格は約50万円、コンパクトかつ電動式でポータブル、PCと連動する機能を持たせました。さらに量産体制を構築すべく、将来的なアジア進出を見据え、中国の深圳に工場の設立を目指しました。銀行をはじめ周囲からは、現地のマネジメントなど人材が不足していると反対されましたが「町工場でも海外生産をやり遂げる」と決断。日中関係が厳しい時には、人手が不足しましたが、私自身も泊まり込んで生産を軌道に乗せました。私自身が積極的に海外の現場に赴き課題を解決したり、営業することも多いため、社内で情報を共有し少人数の会社でも戦える体制を整えています。その後、小型化&ポータブル化を進化させた製品「Patmark」も開発。ドットマーカの売上は2/3を占め、18年度決算では売上が入社当時の約2.5倍となりました。

また、品質管理のニーズが高い海外市場への展開を見据えて、自ら拠点を海外へ移転。海外での取引も着実に増え「世界一の刻印機メーカー」への挑戦を続けています。

企業データ

東京彫刻工業 株式会社

事業内容 刻印、刻印機の製造、販売

- 本社所在地：東京都墨田区亀沢3-23-12
- 業 種：製造業
- 創 業：1919(大正8)年
- 従業員数：50人(海外含む)
- 資本金：1,000万円

Passion for 町工場の意地



- 1 従来型の刻印
- 2 当社が開発した「MarkinBOX」
- 3 更に新しい市場を創造したデジタル手打刻印「Patmark」



株式会社 若松

代表取締役 齊藤 俊一

受賞理由

東京都港区芝の22坪の自社ビルという限られた立地の中、ミニブルワリーとして祖業である酒蔵を100年振りに復活させ事業化に成功したこと。

熱意と粘りで100余年の時を越えて、祖業である酒造りを港区芝に復活。

当社は、現在の東京都港区芝の地に、初代が文化9(1812)年に酒造業を創業。幕末には、勝海舟、西郷隆盛などがうちの酒蔵に来たとされています。しかし、1911年、酒税法の改正により酒蔵を閉じ、以来、飲食業、雑貨業、不動産業などをして7代目の私に至っています。

港区商店街連合会の役員として地方でシャッター商店街を目の当たりにし、このままでは東京の商店街もダメになる、何か活性化する核が必要だと思いました。同時に、地方でも酒蔵には観光客などが集まって来るのを見て、若松の祖業である

酒造りを復活させたいという思いが湧き上がってきたのです。2006年、お台場に出店していた伏見の大手酒造メーカーのミニブルワリーで杜氏の寺澤氏と出会いました。「こんなに小さい場所でもお酒を造ることができるのか」と大変驚き、杜氏の重要性を再確認しました。東京で酒造りをと、杜氏を探しましたがなかなか見つかりませんでした。09年、お台場の店舗が閉鎖されたと知り、改めて寺澤氏に会って自分の酒造復活の思いを語り、一緒にやることに。自宅として使用していた港区芝の小さなビルの1、2階を醸造所に改装。新規で清酒免許を取ることは困難だったため、まず「その他の醸造酒免許」を取得して、どぶろくとリキュールを製造、販売。銘柄は若松の歴史から「江戸開城」と決めました。その後、5年をかけて廃業する酒蔵を買収して清酒免許も取得でき、いよいよ清酒づくりへ。

東京のど真ん中で酒造りを。
周囲を巻き込み歩み続ける「勇気」。



Passion for 祖業“酒造り”の再興

年商に匹敵する設備投資を実施し、法定酒造量(年間6万リットル)を製造できる醸造所に改装し、16年には東京の地酒の製造販売を本格的に始めたのです。多額の投資には周りの反対があり、これほど小さな醸造所は誰もやったことがないものでしたが、杜氏である寺澤氏の知見と技術もあり、何とか製造にこぎつけることができました。清酒製造の課題は水ですが、東京の水道水は高度浄水処理をしてある上質の中軟水で、伏見の水によく似ていると杜氏が言うほど酒づくりに適していました。

「江戸開城」は17年度東京国税局酒類鑑評会清酒純米燗酒部門で優秀賞を受賞。19年には当社の甘酒を使った首都圏限定「ポッキー東京あまざけ」がグリコから販売。地域活性化への寄与は始まったばかりです。今後は20年の東京オリンピック、25年の大阪万博などの機会もふまえて、東京の地酒を世界に発信していきたいと次なる構想も描いています。



企業データ

株式会社 若松

事業内容 酒造業、雑貨小売業、不動産賃貸業

- 本社所在地：東京都港区芝4-7-10
- 業 種：製造業
- 創 業：1812(文化9)年
- 従業員数：4人
- 資 本 金：4,000万円

- ① 港区芝にある東京港醸造の酒蔵
- ② 製造する純米吟醸「江戸開城」
- ③ 代表の齊藤氏(左)と杜氏の寺澤氏



受賞企業一覧(13社・50音順)

奨励賞は、革新的な製品・サービスやビジネスモデルを生み出すための努力がみられ、総合的な観点から今後、大賞・優秀賞・特別賞を受賞されることが期待される企業に贈られるものです。

株式会社 江北ゴム製作所

代表取締役社長 菅原 健太

- 本社所在地: 足立区 ●業種: 製造業
- 事業概要: ゴム製品製造、インフラ・プラント設備修理、腐食防止ブーリー他
- 《受賞理由》 若手の人材育成、女性が働きやすい職場づくりを徹底。省力化や清潔な職場に向けた改革に挑戦

株式会社 佐竹製作所

代表取締役社長 尾方 謙一

- 本社所在地: 千代田区 ●業種: 製造業
- 事業概要: ねじ・精密機械・医療機器部品・精密治工具等の製造・販売
- 《受賞理由》 事業の選択と集中による構造改革を実行。中長期を見据えた次世代へつなぐ経営に挑戦

株式会社 信栄テクノ

代表取締役 高橋 健太

- 本社所在地: 大田区 ●業種: 製造業
- 事業概要: 微細精密部品加工業
- 《受賞理由》 微細深穴加工技術の向上や展示会への積極的な出展など、「待ちの経営」からの脱却に挑戦

株式会社 スワローズスポーツ

代表取締役 矢野 正弘

- 本社所在地: 練馬区 ●業種: 小売業
- 事業概要: 野球用品の小売業
- 《受賞理由》 徹底した社員教育と在庫管理により、常識を覆す野球用品のインターネット販売に挑戦

有限会社 坪川製箱所

代表取締役 坪川 美明

- 本社所在地: 葛飾区 ●業種: 製造業
- 事業概要: 業務用段ボール箱製造・販売、セットアップ、梱包
- 《受賞理由》 段ボールを用いた被災時用枕やトレイなど、社会貢献性の高いオリジナル製品開発に挑戦

データライブ 株式会社

代表取締役 山田 和人

- 本社所在地: 文京区 ●業種: 情報通信業
- 事業概要: 情報通信機器の保守
- 《受賞理由》 主力の中古情報通信機器販売業から撤退し、情報通信機器の第三者保守業への進化に挑戦

株式会社 日興エボナイト製造所

代表取締役 遠藤 智久

- 本社所在地: 荒川区 ●業種: 製造業
- 事業概要: エボナイト樹脂素材製造、万年筆の製造・販売
- 《受賞理由》 天然ゴムと硫黄を原料とするエボナイトを国内で唯一製造。自社ブランド万年筆の製造に挑戦

日本珪瑯釉薬 株式会社

代表取締役社長 小島 大介

- 本社所在地: 板橋区 ●業種: 製造業
- 事業概要: ガラスフリット(低融点ガラス粉末)の開発・製造・販売
- 《受賞理由》 グローバルニッチトップを目指し、顧客との二人三脚による絶え間ない製品開発に挑戦

株式会社 プレステージジャパン

代表取締役 吉田 龍太郎

- 本社所在地: 港区 ●業種: 小売業
- 事業概要: 家具製造販売、インテリア小売店舗運営、室内デザイン企画・設計
- 《受賞理由》 日本文化を伝えるべく、家具輸入小売から脱却。デザインから生産までの体制構築に挑戦

マテリアルワークス 株式会社

代表取締役 加藤 勇治

- 本社所在地: 千代田区 ●業種: 卸売業
- 事業概要: 合成ゴムやプラスチックなどの素材販売
- 《受賞理由》 アフリカに活路を見出し、業績を向上させつつ、国内の多層な流通構造の打破に挑戦

株式会社 ミヨシ

代表取締役 杉山 耕治

- 本社所在地: 葛飾区 ●業種: 製造業
- 事業概要: プラスチック射出成形用金型製作・射出成形・治工具製作
- 《受賞理由》 「人の役に立つものづくり」を掲げ、ベンチャーと連携した組立式ロボットキットなど新製品開発に挑戦

株式会社 ユニフォームネット

代表取締役社長 荒川 広志

- 本社所在地: 千代田区 ●業種: 卸売業
- 事業概要: 企業用ユニフォームの卸売販売
- 《受賞理由》 東日本大震災後、社員の行動の見える化など営業スタイルを抜本的に改革し、経営再建に挑戦

株式会社 横引シャッター

代表取締役 市川 慎次郎

- 本社所在地: 足立区 ●業種: 製造業
- 事業概要: 横に引くシャッター、特殊シャッターの設計・製造・施工
- 《受賞理由》 父から受け継いだ「社員第一主義」を貫き、女性・高齢者など誰もが働きやすい職場づくりに挑戦

第17回「勇気ある経営大賞」実施概要

I 「勇気ある経営大賞」とは

過去に拘泥することなく高い障壁に挑戦し、理想の追求を行うなど、「**勇気ある挑戦**」をしている企業を顕彰する制度です。本顕彰を通じ、後に続く企業に勇気を与え、ひいては経済の活性化に資することを目的としています。

II 選考の流れ



III 選考基準

本賞では、過去に拘泥することなく大きく経営の舵をきる決断を下し、「**勇気ある挑戦**」をしている企業を評価します。「**勇気ある挑戦**」の取り組みの結果、得られた製品・サービスの革新性などや、経営理念・経営手法を中心に選考を行い、業績・財務状況は副次的参考要素にとどめます。

**“勇気ある挑戦”
とは？**

大きなリスクに
挑戦したか

高い障壁に
挑んだか

常識の打破に
挑戦したか

高い理想の追求を
行ったか

① 挑戦した背景や動機、② 挑戦の内容、③ 挑戦が生んだ成果を「**勇気ある挑戦**」として、評価します。

製品・サービス	経営理念・経営手法	業績・財務状況
① 革新性・独自性・優位性 ② 技術・技能・ノウハウ ③ 市場性・成長性・社会性	① ビジネスモデル・成長戦略 ② 人材の育成・活用 ③ コンプライアンス、環境対策、社会貢献活動 など	① 財務基盤 ② 収益性・成長性

※選考に際しては、過去の顕彰・表彰実績や大企業との資本関係の有無等を考慮する場合があります。※創業自体をもって、「**勇気ある挑戦**」として評価することはありません。※技術大賞とは異なり、製品・サービス内容における技術的優位性などはあくまで評価項目の1つとなります。

IV 応募資格について

次の①②のいずれにも該当する企業もしくは企業グループ(自薦・他薦を問いません)

① 中小企業基本法に定める中小企業(※)で非上場企業

※資本金3億円以下または常時雇用する従業員300人以下の会社。ただし、卸売業の場合は資本金1億円以下または従業員100人以下、小売業の場合は資本金5,000万円以下または従業員50人以下、サービス業の場合は資本金5,000万円以下または従業員100人以下。

※みなし大企業はご応募できません。詳しくは事務局までお問い合わせください。

例) 発行済株式の総数または出資金額の総額の2分の1以上を同一の大企業が所有している。

例) 発行済株式の総数または出資金額の総額の3分の2以上を大企業が所有している。

② 東京都に事業活動の拠点(支社、支店、工場、営業所、事務所等も含む)を置く企業

ただし、一都八県(東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県・群馬県・茨城県・栃木県・山梨県・静岡県)に本社機能がある企業に限ります。なお、東京商工会議所への入会・未入会は問いません。

V 受賞特典

受賞企業には、顕彰式典にて顕彰状、トロフィー、賞金を贈呈する他、フジサンケイビジネスアイ等の各種メディアを通じて社会一般に広く周知いたしますので、企業の知名度・信用力の向上はもとより、営業力の強化や経営改善等にもお役に立ていただけます。

大賞

賞金 **200** 万円

優秀賞

賞金 **50** 万円

特別賞

賞金 **50** 万円

※選考の結果、大賞に該当する企業がない場合や複数企業が賞となる場合もあります。複数の企業が賞を受賞された場合、大賞賞金額の範囲内で等分するものとします。

※特別賞は、極めてユニークな取り組みやキラリと光る個性を持った企業に贈賞します。

※総合的な観点から、今後、大賞・優秀賞・特別賞を受賞することが期待される企業に、奨励賞を贈賞します。

VI 第17回「勇気ある経営大賞」組織運営における委員構成

(敬称略・順不同)
2019年10月1日現在

実行委員会(本事業の運営を統括)

委員長	伊 東 孝 紳	東京商工会議所 副会頭(本田技研工業株式会社 取締役相談役)
委員	大久保 秀 夫	東京商工会議所 副会頭・中小企業委員長(株式会社フォーバル 会長)
委員	下 村 節 宏	東京商工会議所 特別顧問・工業部会長(三菱電機株式会社 特別顧問)
委員	伊 丹 敬 之	国際大学 学長
委員	望 月 晴 文	東京中小企業投資育成株式会社 社長
委員	鶴 田 東 洋 彦	フジサンケイビジネスアイ 社長

選考委員会(選考の統括ならびに最終選考を担当)

委員長	伊 丹 敬 之	国際大学 学長
副委員長	望 月 晴 文	東京中小企業投資育成株式会社 社長
委員	鶴 飼 信 一	早稲田大学 名誉教授
委員	渡 辺 元	東京商工会議所 常議員・中小企業国際展開推進委員長(渡辺パイプ株式会社 社長)
委員	今 野 由 梨	ダイヤル・サービス株式会社 社長
委員	長谷川 裕 夫	東京都立産業技術研究センター 理事・開発本部長
委員	保 坂 政 彦	東京都中小企業振興公社 理事長
委員	小 林 治 彦	東京商工会議所 理事・事務局長

選考ワーキンググループ(第二次選考・第三次選考を担当)

座 長	鶴 飼 信 一	早稲田大学 名誉教授
委員	井 上 考 二	株式会社日本政策金融公庫 総合研究所 主席研究員
委員	大 高 直 美	東京都中小企業診断士協会 理事・副会長
委員	大 場 順 二	東京都中小企業振興公社 企画管理部 企画調整担当課長/施設担当課長
委員	大 村 智 之	東京中小企業投資育成株式会社 ビジネスサポート部長
委員	小 野 晴 世	Web活用経営株式会社 社長
委員	鉢 嶺 実	信金中央金庫 地域・中小企業研究所 主任研究員
委員	篠 原 令 広	フジサンケイビジネスアイ 取締役
委員	山 下 健	東京商工会議所 中小企業部長

第一次選考委員(第一次選考を担当)

委員	石 川 知 穂	中小企業診断士
委員	遠 藤 啓 治	中小企業診断士
委員	大 橋 信 太 郎	中小企業診断士
委員	坂 口 到	中小企業診断士
委員	佐 川 博 樹	中小企業診断士
委員	佐 藤 正 樹	中小企業診断士
委員	松 原 和 枝	中小企業診断士
委員	渡 辺 孝	中小企業診断士

Ⅶ 募集期間・応募総数

募集期間 2019年1月10日(木)～3月8日(金) 応募総数 118社

業種別内訳		合計 118社	
製造業	41社(34.7%)	建設業	9社(7.6%)
サービス業	37社(31.3%)	小売業	4社(3.4%)
情報通信業	15社(12.7%)	金融・保険業	1社(0.9%)
卸売業	10社(8.5%)	不動産業	1社(0.9%)
		合計 118社	

Ⅷ 選考過程

第一次選考会 4月18日(木)・4月24日(水)

第二次選考会 6月5日(水)

実地調査 6月19日(水)～7月17日(水)

第三次選考会 8月7日(水)

最終選考会 9月9日(月)

Ⅸ 推薦者又は団体 (順不同)

株式会社日本政策金融公庫	城北信用金庫	立川商工会議所
東京中小企業投資育成株式会社	昭和信用金庫	公益財団法人東京都中小企業振興公社
株式会社きらぼし銀行	巣鴨信用金庫	港区商店街連合会
株式会社三井住友銀行	西武信用金庫	株式会社社会業務研究所
朝日信用金庫	世田谷信用金庫	楠元公認会計士事務所
亀有信用金庫	東京信用金庫	株式会社日刊工業新聞社
興産信用金庫	東京東信用金庫	株式会社パーテック
西京信用金庫	青梅商工会議所	フジサンケイビジネスアイ

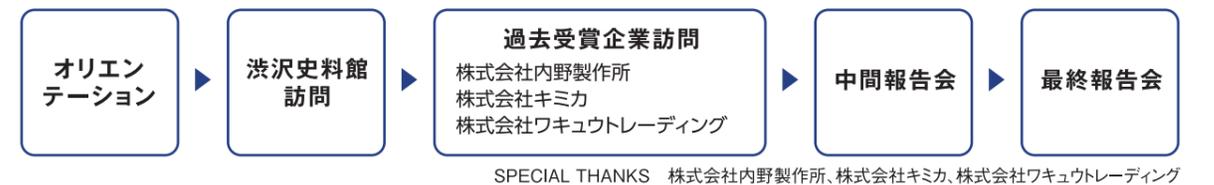
「若い世代にも中小企業の魅力を伝えたい」

東京商工会議所では、課題を乗り越え挑戦を続ける中小企業を、経営者だけでなく、若い世代に伝えることを目的に共同プロジェクトを立ち上げました。本プロジェクトには、産業能率大学の岩井善弘副学長が指導するゼミ生14名が参加しました。

《プロジェクトの趣旨》 本プロジェクトは、東京商工会議所と産業能率大学が連携し、第17回「勇気ある経営大賞」顕彰式典で受賞企業を紹介する展示ブースのコンセプトを企画するものです。

学生たちは、東商創立の精神に触れるため渋沢史料館への訪問を皮切りに、過去受賞企業経営者から、直接、会社経営を通じて大事にしていることなどをヒアリングし、コンセプトを作り上げていきました。

《プロジェクトの流れ》

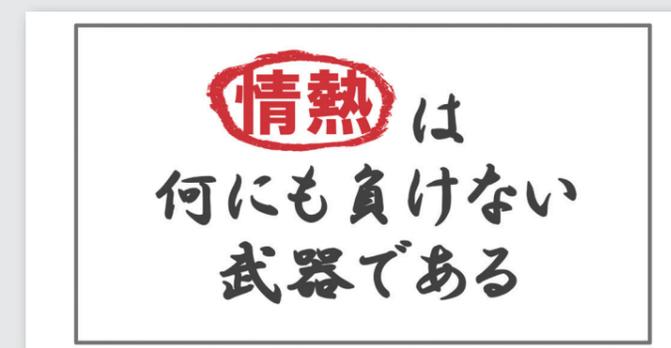


実際に受賞企業へ訪問し、経営を通じて大事にしていることなどを経営者へ直接取材。学生たちも、机上論ではない話にどんどん引き込まれていきました。



最終報告会では参加した4チームから、それぞれ受賞企業への訪問を通じて感じた中小企業の魅力をまとめたコンセプトを発表。いずれも経営者の思いや楽しそうに働くヒトに焦点が当てられたものでした。

[採用コンセプト]



最終報告会で学生から発表された案から採用されたのが、「情熱は何にも負けない武器である」。同世代の若者に対して、「中小企業の魅力をわかりやすく伝える」ためのカギは情熱。「情熱は人の心を動かし感動を分かち合うことができる」と表現しています。

「勇気ある経営大賞」過去受賞企業一覧

(第1～4回 2003～2006年)

(第5～8回 2007～2010年)

回数年	賞種	会社名	創業	主な事業内容(業種)	本社所在地【現在地】
第1回 2003年 (H15年)	大賞	株式会社メディネット	平成 7年	「免疫細胞医療法」における医療機関への支援(サービス)	神奈川県横浜市
		株式会社キャドセンター	昭和 62年	建築シミュレーション等ビジュアルコンテンツ制作(情報サービス)	新宿区 【現：千代田区】
	優秀賞	株式会社生活の木	昭和 30年	ハーブ関連商品の製造・販売(小売)	渋谷区
		日本風力開発株式会社	平成 11年	風力発電所の開発・運営(エネルギー)	港区 【現：千代田区】
		株式会社ピー・ジー・エム	平成 10年	ヨーロッパ古着の量り売り(小売)	目黒区
		マイクロニクス株式会社	昭和 60年	電子計測器・情報通信機器の開発・製造(製造)	神奈川県 相模原市 立川市 【現：八王子市】
		マノ精工株式会社	昭和 23年	切削による精密金属加工(製造)	港区
		株式会社太新	平成 8年	養殖魚の生産・水産物の加工販売(卸売)	港区
	特別賞	株式会社ダイワハイテックス	昭和 53年	書籍の包装機械・副資材の製造・販売(製造)	板橋区
		株式会社ファイマテック	昭和 62年	重質炭酸カルシウム(製紙用顔料)の製造(製造)	港区 【現：千代田区】
		フットマーク株式会社	昭和 21年	水泳用品・介護用品等の企画・製造(製造)	墨田区
第2回 2004年 (H16年)	優秀賞	株式会社アイエス	平成 10年	ペットボトル等のケミカルリサイクル技術開発(サービス)	港区
		株式会社アパレルウェブ	平成 12年	ポータルサイト運営、ビジネスマッチング(サービス)	中央区
		エビナ電化工業株式会社	昭和 21年	特殊めっき加工(製造)	大田区
		大智化学産業株式会社	昭和 41年	電子部品素材の水溶性加工溶剤の開発・製造(製造)	墨田区 【現：中央区】
		株式会社木村技研	昭和 23年	各種トイレ・水処理システムの製造・施工(製造)	世田谷区
		坂田電機株式会社	昭和 27年	土木・建築関連の計測機器の開発・製造(製造)	杉並区 【現：西東京市】
		株式会社シナジー	昭和 59年	システム開発製造・販売(サービス)	品川区
		株式会社日本パープル	昭和 47年	機密書類・情報記録媒体の集荷・抹消処理・保管(サービス)	港区
第3回 2005年 (H17年)	大賞	株式会社サキコーポレーション	平成 6年	プリント基板実装工程向けの自動外観検査装置の開発(製造)	港区 【現：品川区】
		株式会社アキュラホーム	昭和 53年	住宅建築、工務店経営コンサルティング(建設)	埼玉県 さいたま市 【現：新宿区】
	優秀賞	株式会社アタゴ	昭和 15年	各種屈折計(濃度測定)の開発(製造)	板橋区 【現：港区】
		株式会社ウェルシィ (現：三菱ケミカルアクア・ソリューションズ株式会社)	昭和 60年	地下水膜ろ過システムの製造・メンテナンス(製造)	中央区 【現：品川区】
		エム・アンド・エスファインテック株式会社	平成 10年	ガラス研磨装置の開発・製造(製造)	港区
		東成エレクトロビーム株式会社	昭和 52年	電子ビーム・レーザーによる金属部品の受託精密加工(製造)	西多摩郡瑞穂町
		マイルストーン株式会社	平成 10年	プラスチック小型非球面レンズの開発・設計(製造)	府中市
		三鷹光器株式会社	昭和 41年	医療・産業用の光学機器等の開発・製造(製造)	三鷹市
	特別賞	ミナミ株式会社	昭和 55年	半導体表面実装用スクリーン印刷機の開発・製造(製造)	府中市
		株式会社ワールドケミカル	昭和 46年	油回収ポンプ・システムの開発・製造(製造)	港区 【現：台東区】
		イデアールプロジェクト株式会社	平成 15年	リノベーションを主とする不動産開発の企画・運営(不動産)	目黒区
		株式会社ロコモジェン	平成 13年	ゲノム創薬に基づく医薬品・診断薬の研究開発(サービス)	港区
第4回 2006年 (H18年)	大賞	岡野工業株式会社	大正 13年	痛くない注射針等の金属加工業(製造)	墨田区
		株式会社ダイマジック	平成 11年	3Dオーディオシステムを活用した音響機器開発(製造)	千代田区
	優秀賞	京王電化工業株式会社	昭和 43年	各種メッキ処理、環境対応型メッキ技術の開発(製造)	調布市
		スターウェイ株式会社	平成 11年	再利用梱包箱を利用した物流業(サービス)	港区
		株式会社大和テクノシステムズ	昭和 42年	理科学機器パーツの精密加工・開発・設計(製造)	町田市
		株式会社日進産業	昭和 52年	特殊多機能性塗料の研究・開発・製造(製造)	板橋区
		株式会社橋本鋳造所	明治 45年	多品種鋳造品の製造・販売(製造)	大田区
		株式会社松崎マトリクステクノ	昭和 17年	繊維編織機械、繊維製品の開発・製造(製造)	板橋区
	特別賞	株式会社明王化成	昭和 44年	電子部品精密成形、精密金型設計製作(製造)	大田区
		株式会社ユニフローズ	昭和 60年	分析装置用マイクロポンプの開発・製造(製造)	あきる野市
		有限会社酒舗まさるや	昭和 43年	地酒と本格焼酎を専門とした酒の販売(小売)	町田市

回数年	賞種	会社名	創業	主な事業内容(業種)	本社所在地【現在地】
第5回 2007年 (H19年)	大賞	株式会社チバダイス	昭和 41年	小型精密歯車の開発・設計・製造(製造)	葛飾区
		東光薬品工業株式会社	昭和 36年	白血病治療薬の開発・製造(製造)	足立区
	優秀賞	株式会社イピサ	昭和 40年	自社ブランド革製手作りバッグの製造(製造)	港区
		京西テクノス株式会社	平成 3年	全メーカーの計測・医療・通信機器の保守・修理(サービス)	八王子市 【現：多摩市】
		昭和測器株式会社	昭和 43年	様々な分野における振動計測器の開発(製造)	千代田区
		株式会社東京信友	昭和 58年	聴覚障がい者用情報伝達機器の開発(製造)	新宿区
		株式会社浜野製作所	昭和 53年	レーザー加工・金型・精密板金・プレス加工(製造)	墨田区
		株式会社ワールドバイオニア (現：ダブル・ビー株式会社)	平成 3年	聴覚障がい者向け機器製造及びサポートサービス(製造)	中野区
	特別賞	株式会社ヤマグチ	昭和 40年	地域密着型家電小売業(小売)	町田市
	第6回 2008年 (H20年)	大賞	株式会社エリオニクス	昭和 50年	ナノテク研究用の超微細加工・分析装置の開発(製造)
大和合金株式会社・ 三芳合金工業株式会社			昭和 16年 昭和 38年	特殊銅合金の開発・製造(製造)	板橋区 埼玉県入間郡
優秀賞		日本分析工業株式会社	昭和 40年	液体クロマトグラフの開発・製造(製造)	西多摩郡瑞穂町
		株式会社マルコム	昭和 48年	はんだ付け関連装置及び核酸抽出装置の開発(製造)	渋谷区
		株式会社モトロール	昭和 51年	機械式高精度接触センサの開発・製造(製造)	立川市
		株式会社リーテム	明治 42年	廃棄物処理及び環境コンサルタント(サービス)	千代田区
特別賞		有限会社原田左官工業所	昭和 24年	左官工事及び湿式工事(建設)	文京区
第7回 2009年 (H21年)		大賞	坂口電熱株式会社	大正 12年	あらゆる産業向けのヒーター及び部品の製造・販売(製造)
	株式会社井口機工製作所		昭和 30年	ボールベアリングを用いた搬送用装置の製造(製造)	練馬区
	優秀賞	株式会社相馬光学	昭和 51年	光を利用した分析・測定・計測機器の開発(製造)	西多摩郡日の出町
		株式会社田代合金所	大正 3年	錫合金を用いた内装建材の製造(製造)	台東区
		株式会社ヒキフネ	昭和 7年	装飾・機能・精密などあらゆる種類のめっき加工(製造)	葛飾区
		株式会社OKUTA	平成 4年	自然素材を利用した住宅リフォーム(建設)	埼玉県さいたま市
		株式会社環境経営総合研究所	平成 10年	古紙と樹脂を混練・成形した紙製容器等の製造(製造)	渋谷区
		久米繊維工業株式会社	昭和 10年	国産オリジナルTシャツの企画・製造・販売(製造)	墨田区
	特別賞	グラパックジャパン株式会社	大正 14年	印刷、紙器製造、レンズシートの製造・販売(製造)	墨田区
		株式会社ズーム・ティー・ 有限会社奥谷硝子製作所	昭和 62年 昭和 38年	ドクターベッタほ乳びんほかベビー用品の販売(小売) 手作りによる各種ガラス製品の製造(製造)	港区 江戸川区
第8回 2010年 (H22年)	大賞	アルケア株式会社	昭和 30年	医療・福祉・健康分野器具の開発・製造(製造)	墨田区
		日本理化学工業株式会社	昭和 12年	チョークを中心とする文具・事務用品製造(製造)	神奈川県川崎市
	優秀賞	株式会社オプナス	昭和 5年	自動販売機・住宅ドア等の錠及び鍵の製造(製造)	千代田区 【現：中央区】
		株式会社グルメン	昭和 59年	日配食品を中心とする食品流通(卸売)	港区
		株式会社長津製作所	昭和 25年	精密プラスチック金型の設計・製作(製造)	品川区
		株式会社マテリアル	平成 4年	非鉄金属材料販売、精密機械加工(製造)	大田区
	特別賞	株式会社ミラック光学	昭和 38年	精密光学機器・位置決めステージ等の製造(製造)	八王子市
		アラヤ株式会社	平成 16年	製品の取扱説明書等の多言語翻訳(サービス)	目黒区
		株式会社大妻工房ロア	昭和 61年	大妻を使った菓子・食品の製造・販売(製造)	栃木県足利市
		有限会社モーハウス	平成 9年	授乳服の製造・販売(製造)	茨城県つくば市

「勇気ある経営大賞」過去受賞企業一覧

(第9～13回 2011～2015年)

回数年	賞種	会社名	創業	主な事業内容(業種)	本社所在地【現在地】
第9回 2011年 (H23年)	大賞	株式会社サカエ	昭和 27年	電気機械器具製造業(シーヒーター、シュレッダー、検査用医療機器等の製造・販売)(製造)	港区
	優秀賞	アトムメディカル株式会社	昭和 13年	医療機器の製造、販売、輸出入及び保守、メンテナンスサービス(製造)	文京区
		小杉造園株式会社	昭和 18年	庭園のデザインから施工、メンテナンスまでの一連の業務請負(建設)	世田谷区
		株式会社データテック	昭和 58年	車載機「セイフティレコーダー」の開発、販売及び支援業務(製造)	大田区
		株式会社旅籠屋	平成 6年	ロードサイドホテルチェーン「ファミリーロッジ旅籠屋」の経営(サービス)	台東区
		深中メッキ工業株式会社	昭和 27年	電気メッキ業(主に、電子部品の表面処理)(製造)	墨田区
	特別賞	福永紙工株式会社	昭和 38年	印刷・紙器加工(製造)	立川市
		株式会社ベアーズ	平成 11年	家事代行、介護支援、子育て支援、ハウスクリーニング(サービス)	中央区
第10回 2012年 (H24年)	大賞	株式会社日本レーザー	昭和 43年	レーザー・光学機器製品の輸入販売及び自社品開発販売・サービス(卸売)	新宿区
	優秀賞	株式会社鬼塚硝子	昭和 42年	各種ガラス機器、CO2レーザー、電界放出型X線管の製造販売(製造)	青梅市
		有限会社清田製作所	昭和 38年	半導体関連電子部品回路検査装置用コンタクトプローブ製造・販売(製造)	北区
		株式会社コヤマドライビングスクール	昭和 32年	自動車教習所(サービス)	渋谷区
		ダイヤ精機株式会社	昭和 39年	自動車メーカー及び部品メーカー向け精密部品・治工具・設計(製造)	大田区
		株式会社田中医器器械製作所	大正 5年	手術用鋼製手術器械の製造販売(製造)	北区
	特別賞	武州工業株式会社	昭和 27年	自動車用金属加工部品・医療機器部品製造、自動制御機械製作(製造)	青梅市
		山万株式会社	昭和 26年	建築設計施工、宅地造成販売、不動産売買、仲介、賃貸、鉄道事業(建設)	中央区
株式会社ユーグレナ		平成 17年	ユーグレナ(和名 ミドリムシ)の研究開発・生産品質管理・販売(製造)	文京区 【現：港区】	
第11回 2013年 (H25年)	大賞	株式会社内野製作所	昭和 2年	新車開発用の歯車試作からF-1や航空産業用の歯車までを製作する製造業(製造)	八王子市
	優秀賞	カネパッケージ株式会社	昭和 51年	各種緩衝剤・設計・試験・製造・販売(製造)	埼玉県入間市
		株式会社西尾硝子鏡工業所	昭和 7年	商業施設で使用されるショーケースなどのガラス加工・施工業務(建設)	大田区
		日進精機株式会社	昭和 32年	超精密金型製造及び精密金属プレス加工、CNCパイプベンダー他製造販売(製造)	大田区
	特別賞	株式会社ミノダ	昭和 39年	キャラクター商品企画製造、ワッペン等刺繍加工、通販サイト運営(製造)	千代田区
		株式会社ユニバック	平成 2年	フィルタ製造販売、空調設備の保守、管工事・電気工事(建設)	埼玉県川口市
システム・インストルメンツ株式会社		昭和 47年	医療、環境、健康、バイオ関連装置の製造・販売(製造)	八王子市	
株式会社清和光学製作所	昭和 22年	光学精密機器・装置開発製造(製造)	中野区		
第12回 2014年 (H26年)	大賞	株式会社アイオイ・システム	昭和 59年	電子関連機器の設計・開発、製造・販売(製造)	大田区
	優秀賞	芝園開発株式会社	昭和 61年	時間貸の駐輪場・駐車場の運営管理、放置自転車対策事業などの受託(サービス)	足立区
		株式会社東洋ポデー	昭和 31年	トラックの荷台(リアボディ)の設計・製造・販売(製造)	武蔵村山市
	特別賞	有限会社エニシング	平成 12年	日本伝統の帆布素材の前掛けの企画製造販売(小売)	小金井市 【現：港区】
東京ブラインド工業株式会社		昭和 24年	各種ブラインド・間仕切りの製造・販売・保守・修理サービス(製造)	港区	
第13回 2015年 (H27年)	大賞	スタック電子株式会社	昭和 46年	テレビ放送や防災無線等で用いられる高周波と光の伝送機器(製造)	昭島市
	優秀賞	株式会社ウエマツ	昭和 33年	ポスター・カタログなどの高付加価値多色印刷物製造(製造)	豊島区
		株式会社CSS技術開発	昭和 60年	測量サービス、土質試験、測量機レンタル、測量ソフト開発・販売(サービス)	多摩市
	特別賞	北星鉛筆株式会社	昭和 26年	鉛筆製造と製造時に排出する廃棄物「おが屑」の再商品化事業(製造)	葛飾区
株式会社ヒカリ		昭和 42年	理容師・美容師専用シザース、ネイリスト専用ニッパー開発・製造・販売(製造)	板橋区	

(第14～16回 2016～2018年)

回数年	賞種	会社名	創業	主な事業内容(業種)	本社所在地【現在地】
第14回 2016年 (H28年)	大賞	株式会社キミカ	昭和 16年	アルギン酸ならびにその応用製品の製造および販売(製造)	中央区
	優秀賞	株式会社アスペクト	平成 8年	ハイエンド3Dプリンターの開発・製造・販売(製造)	稲城市
		管清工業株式会社	昭和 37年	下水道管路施設管理業(建設)	世田谷区
	特別賞	株式会社東京インストルメンツ	昭和 56年	光学機器、レーザー、計測機器の輸出入、分析装置の製造販売(卸売)	江戸川区
株式会社マツブシ		昭和 14年	一般企業向けオリジナル刺繍商品の製作販売(製造)	足立区	
第15回 2017年 (H29年)	大賞	株式会社丸高工業	昭和 29年	耐震・改修工事を中心とした建設工事全般(建設)	品川区
	優秀賞	協栄産業株式会社	昭和 60年	合成樹脂の再生加工・販売(製造)	栃木県小山市
		株式会社南武	昭和 16年	金型用油圧シリンダー、重工業向けロータリージョイントの設計・製造・販売(製造)	神奈川県横浜市
	特別賞	株式会社協進印刷	昭和 26年	高機能・高付加価値な紙パッケージの企画・製造及び提案営業(製造)	世田谷区
株式会社ワキュウトレーディング		平成 7年	マッシュルーム専門商社(卸売)	町田市 【現：豊島区】	
第16回 2018年 (H30年)	大賞	日本電鍍工業株式会社	昭和 31年	金属めっき加工業(製造)	埼玉県さいたま市
	優秀賞	株式会社飯田	大正 元年	厨房用品専門販売業(小売)	台東区
		エコサイクル株式会社	平成 11年	土壌汚染調査、浄化工事、水処理、浄化剤の開発・製造・販売(建設)	中央区
	特別賞	英弘精機株式会社	昭和 2年	理化学機器、計測機器、光学機器の製造及び輸出入販売(製造)	渋谷区
株式会社エジソン		平成 6年	環境・廃棄物管理システム・サービスの提供(サービス)	茨城県つくば市	

※ データは受賞当時のものです

「勇気ある経営大賞」運営事務局

東京商工会議所 中小企業部

〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-2-2 丸の内二重橋ビル

Tel.03-3283-7754 URL <http://www.tokyo-cci.or.jp>

2019年10月発行